

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。



伊集 悟 議員



問

6月議会で教職員の勤務時間の過少申告や持ち帰り仕事があり得るとのことだったが実態把握はしているか。

【教育部長】

学校名と個人を特定しない調査をしたところ、改善が必要な状況が浮き彫りになった。管理職へ周知し、学校現場での取組みを再度検証したい。

問

朝の連絡時間や土日のPTA活動の協力要請について、一部の保護者に誤解もある。それは説明不足によるもの。今一度、丁寧な説明や理解してもらう取組みを求める。

【教育総務課主幹】

教育委員会と管理者と一度検討し、どのような方法が最もよいのか、周知が図れるように検討する。

■不登校の誤解を解き、地域で支える体制づくりを！

不登校で悩む保護者の相談で地域の方から「甘えや怠けでないのか」と実情も知らずに指摘されショックを受けた。また教員の言葉にも親子で辛い思いをした。教育機会確保法施行以降、不登校は問題行動ではない、必ずしも学校復帰はゴールではない、多様性を認めていくことなど、不登校の対応は昔と違い、大きく変わった。今一度、丁寧な周知ができないか。

問

【教育長】学校にとっては大勢の中の一人だが保護者にとってはたった一人の我が子。そこを大切に、さまざまな視点から子供を見ることができるよう、教

■津花波・呉屋地域の危険道路の早期改善を！

9月に要望した呉屋の車がすれ違えない狭小の箇所カーブミラー設置の進捗状況について聞く。また津花波入口の道路改善は。

問

【町長】呉屋のカーブミラーの設置は、今年度の設置予定計画に入っている。津花波入口



津花波入口

■保護者・地域の理解と協力が必要な教職員の働き方改革！

問

労基法で定める休憩が十分に休めていないとの声もあるが。【教育総務課主幹】 休憩時間にきちんと休めていないと認識はしている。

■子育て短期支援事業について

問

子育て短期支援事業（ショートステイ）を里親等へ委託することにより実施する方向性は検討可能か。

【福祉部長】

本事業を里親委託によって実施するための予算の確保や事業実施に向けた課題を整理し、検討したい。



やましろ かつ たか 山城 勝貴 議員



う話も聞いている。そうならないための対策は。

【町長】

まずは他の市町村の状況や実態把握などの調査を先行していきたい。

■学校設備環境の安全対策について

各学校、老朽化した学校設備の把握状況や対策について聞く。

問

■TNR活動状況や地域猫の普及啓発について

町民のボランティア活動を支援するため行政枠で定期的にTNRチケットの確保は可能か。

問

【総務部長】本町では他市町村と同様に、自治会に対して行政枠の提供を考

■地域包括支援センターについて

問 介護ニーズが一層高まる中で地域包括支援センターが1か所のみでは、現場職員の更なる負担増が懸念される。センターの増設や委託費拡充などの検討は。

町長 令和5年度からの5年間の委託費については、課題であった職員

体制の強化が行えるよう、予算の拡充を図った上で、公募を実施している。また今後の高齢者施策については他市町村の取組みを参考に行政側で地域包括支援センターへの補完的な役割を検討したい。

問

自治体によっては地域包括支援センターの委託を受ける業者がなく直営する形になってしまったとい

教育部長

学校施設の修繕等については、定期点検で報告を受けた際に緊急性を考慮し、優先順位をつけ学校と調整しながら対応している。

問

優先順位の見える化や予算拡充の検討が必要だと思つが。

教育総務課長

学習環境の中で危険なものをまず優先にやっている。予算がかかるところは財政と調整をして進

えている。チケットの確保は、自治会からの申請内容や、公益財団法人動物基金の全国自治体等への交付状況によるため、定量を定期的に確保するのは困難と考えている。

その他の質問

- 町内における障がい福祉サービスに関する情報発信について
- 農地利用意向調査について



■選挙に関心を持ってもらうために

問 知事選・町議選の年代別の投票率は。

選挙管理委員会事務局長

知事選挙

10代 44・3%、20代 42・5%、30代 54・1%、40代 64・1%、50代 72・3

選挙管理委員会事務局長 議会に関

問

子ども議会や児童生徒が傍聴に来るような機会や取り組みを行っているかどうか。

選挙管理委員会事務局長

若年層の

投票率向上のため広報の在り方もいろいろ考えていきたいと思う。現在は、西原高校で模擬投票などを取り組んでいる。

問

選挙の広報の仕方や町民に知らせる方法を新しく考えるべきではないか。

%、60代 78・0%、70代 80・0%、80代以上 55・2%。

西原町議選挙 10代 42・7%、20代 41・7%、30代 53・1%、40代 61・9%、50代 70・2%、60代 74・7%、70代 76・8%、80代以上 53・7%。

■新しい街づくり

心を持って選挙に参加することと教育委員会と調整して前向きに考えていきたい。

問

既存の場所でのトレーニング器具の更新や改修等が難しいのであれば中央公民館ヘトレーニング室を新設したり、マシンをPFI等で活用してはどうか。

企画財政課主幹

新たなトレーニングマシン等の導入に関してPFI事業ということで民間活力を導入することとは大変有用なこと。体育館と中央公民館をすみ分けしながら検討していく。

問

ネーミングライツの現状は

■地域の活性化に向けて

企画財政課主幹 昨年度町内三施設募集しているが現在では応募には至っていない。

問

若い世代がもっと街づくりに参加できる環境整備をしてほしいが。

生涯学習課長

青年協議会が今休止中なので再開に向けて取組んでいきたいと思う。

その他の質問

- 2学期制・3学期制について
- 若年層の薬物問題
- 教育現場のデジタル化

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。